

高齢者の意欲低下の評価・診断・介入のためのフローチャートの開発 及び指針作成

順天堂大学 馬場元（2025年度～2027年度）

研究開発目的

高齢者の意欲低下は、活動性の低下によるフレイルやサルコペニア、慢性疾患のリスク、対人交流の減少による抑うつや認知機能低下のリスクを高める。本研究は、医療や介護の現場、地域や家庭で高齢者の意欲低下を早期に評価・判定し、その原因の特定と、それぞれの原因に応じた適切かつ早期の介入に導くための指針とフローチャートの開発を目的とする。

取り組み

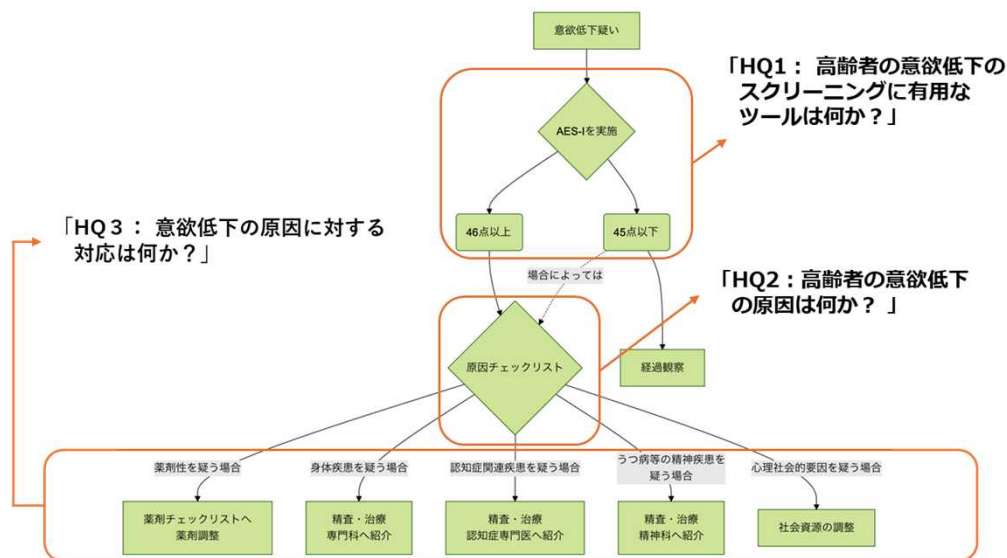
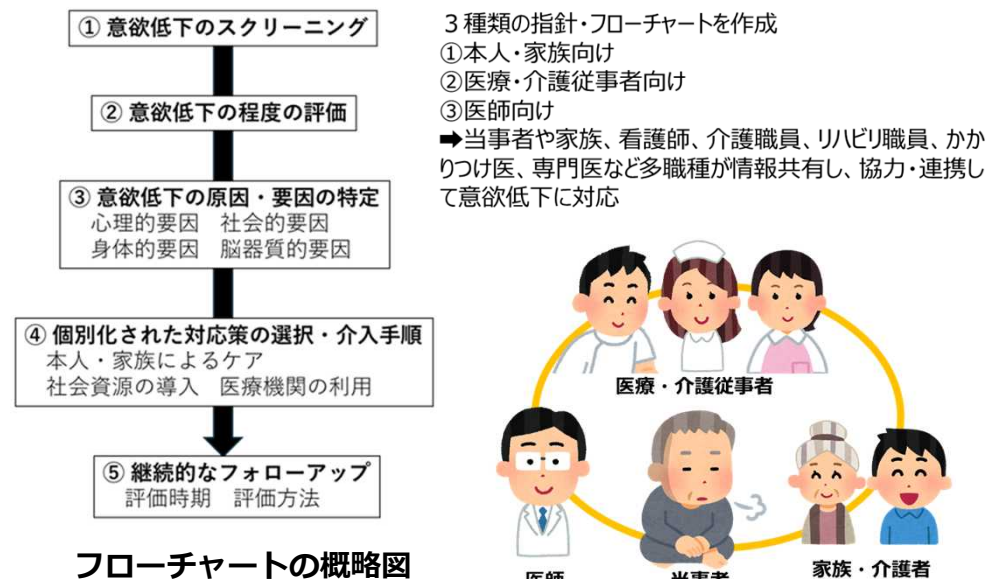
初年度は意欲低下の評価、その背景となっている原因、それぞれの原因に対する治療やリハビリテーション、ケアについての文献的レビューと、アンケートによる実態調査を行う。

成果

現在文献検索とアンケート実施の準備を進めている。

今後の展開

使用する現場や対象者によって①本人・家族向け、②医療・介護従事者向け、③医師向けの3種類の指針・フローチャートを作成し、有用性の検証を行う。



例：医師向けのフローチャートのイメージ